

2023 年度

近畿建設協会研究助成の募集について

一般社団法人近畿建設協会

はじめに

一般社団法人近畿建設協会は、建設事業の円滑な推進に資し、国土開発の発展に寄与することを目的として各種の事業を推進しています。

このたび、当協会の公益事業の一環として、国立大学・公立大学・私立大学・高等専門学校等における土木工学及び環境工学に関する分野の研究活動に対し、その研究費の助成をすべく、近畿建設協会研究助成を実施いたします。

2023年度に助成を行う研究課題について以下のとおり募集しますので、奮ってご応募いただきますようご案内いたします。

1. 助成対象テーマ

2023年度は、以下のようなテーマを設定し、これに関する研究について重点的に助成します。

- (1) 今後の河川・道路等社会資本整備のあり方に関する研究
- (2) 社会資本整備に係わる技術の向上に関する研究
- (3) 社会資本整備に係わる環境の保全と創造に関する研究
- (4) 自然災害の防災・減災に関する研究

2. 助成対象者及び助成規模

近畿地方及び周辺（福井県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県等）の国立大学・公立大学・私立大学・高等専門学校等における研究者を対象とします。応募は1人（共同研究の場合は1研究グループ）あたり1件とします。

2023年度の助成件数は7件以下とします。

3. 助成金

- (1) 助成金額は、研究1件につき100万円以内とします。
- (2) 助成金の使途については、別紙1「助成金の使途について」によるものとします。使途内容によっては対象とならない場合がありますので、使途の可否が不明の際には事前に事務局までご連絡下さい。

4. 研究の実施

研究の実施期間は助成選定の通知日から2024年3月31日までとし、「近畿建設協会研究助成要綱」に従い研究を実施して頂きます。

5. 応募方法

下記書類を当協会ホームページ内の応募フォーム（WEB申込）又は郵送にてご提出ください。

- (1) 研究助成申請書（様式1）
- (2) 研究課題概要（様式2）
- (3) 研究歴及び主な研究発表論文等（様式3）

※研究課題に関連した論文1編を添付してください。

※共同研究者がいる場合は人数分の研究課題に関連した論文をご提出ください。

なお、提出論文が共同研究者との連名の場合は提出の必要はありません。

※提出書類は、全て日本語で記入してください。

※様式1・様式2・様式3の書類は、当協会ホームページにてダウンロードしていただけます。

※WEB申込をする場合は、応募フォームへの入力が様式1の代わりとなります。

また、様式2・様式3の書類は応募フォームへの添付（各添付ファイルはPDFのみ、合計10MBまで）によりご提出ください。

※容量等の理由で、様式2・様式3の書類が添付できない場合は、別途事務局までメールにてご提出ください。

※ご提出いただきました個人情報、当目的以外に利用することはありません。

6. 応募期間

応募期間は以下の期間とします。

2023年4月10日(月)～2023年5月31日(水) WEB申込：17:00 まで
郵送申込：当日消印有効

※WEB 申込をする場合は、最終日の 17 時までに、入力内容の送信を完了するようにして下さい。

※WEB 申込終了後数時間を経過しても応募受付完了メールが届かない場合は、事務局までお問い合わせ下さい。

7. 助成の選定

助成の選定は提出された申請書を基に、有識者等からなる「公益事業委員会」において審議し、助成を行う研究課題を決定します。

選定にあたっては、以下の点から総合的に判断を行い、助成を行う研究課題を決定します。

- (1) 問題意識が鮮明で、達成目標が具体的であること
- (2) 新しい創造・企画を目指すものであること
- (3) 研究の手法が明確であること
- (4) 助成対象テーマとの整合性がとれていること
- (5) 広域的、公益的効果を有すること
- (6) 実用化の可能性を有すること
- (7) 研究成果は国内や近畿地方への反映が望めるものであること
- (8) 当助成により研究成果に著しく寄与するものであること。
- (9) 地域課題の解決、地域への波及効果が期待できるものであること。

8. 選定結果

2023年8月上旬頃に、申請者宛に研究助成選定通知書(様式4-1)又は研究助成非選定通知書(様式4-2)で通知するとともに、選定された研究課題を当協会ホームページへ掲載します。

9. 助成金の支払い方法

研究助成選定通知書(様式4-1)の受領後、定められた期日以内に下記の書類を事務局までご提出ください。

- (1) 助成金請求書(様式5)
- (2) 助成金使途内訳書(様式6)

上記の書類受理の後、ご指定の口座に助成金をお支払いいたします。

※個人名義の口座へのお振込みはできません。

10. 報告書の提出

研究期間満了日(2024年3月31日)までに、下記(1)～(4)を事務局までご提出ください。

- (1) 研究助成完了届(様式7-1)
- (2) 近畿建設協会研究助成報告書(様式7-2)
- (3) 成果論文(自由様式)
- (4) 前述(2)・(3)の電子データ(CD媒体)

*研究期間満了日(2024年3月31日)までに、上記(1)～(4)を提出できない場合

研究助成中間報告書(様式8)を必ずご提出いただき、研究期間満了後1ヵ月以内(2024年4月30日)に上記(1)～(4)をご提出ください。

11. 研究成果の公開

- (1) ご報告いただいた研究成果について、翌年 9 月頃に当協会が実施します「近畿建設協会 研究助成発表会」で発表をしていただくことが助成の条件となります。
- (2) ご報告いただいた研究の成果等を示す文書、写真などは当協会のパンフレット・ホームページ等で使用させていただきます。

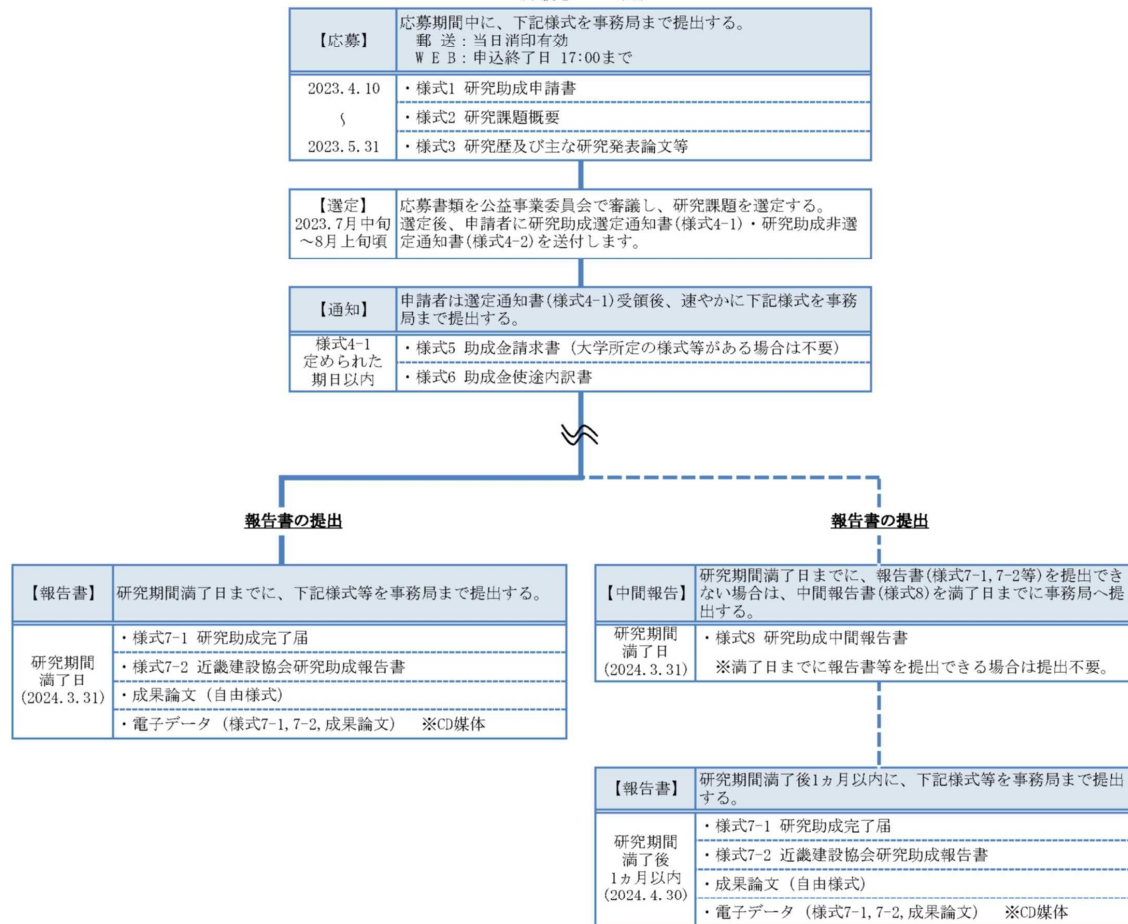
12. 申請書の提出先・お問い合わせ先

事務局：一般社団法人近畿建設協会 経営企画部 (担当：倉橋^{くらはし}、佐藤^{さとう}、藤本^{ふじもと})
9:30～17:00 (土日祝除く)

〒540-6591 大阪市中央区大手前 1-7-31 OMM 13F

TEL：(06)6941-0174 FAX：(06)6941-1742 Mail：koeki@kyokai-kinki.or.jp

《手続きフロー図》



助成金の使途について

助成金の使途内容として、下記のことを想定しています。使途内容によっては助成対象とならない場合がありますので、ご不明な点がある場合には、事前に事務局までご連絡下さい。

[本事業の助成金の使用期間は翌年 3 月末までとなります]

費目	使途内容	備考
人件費・謝金*	・実験、測定、実態調査、資料整理、集計作業等の研究補助者に必要となる費用 等	<u>支援総額の 1/2 を超えての計上はしないでください。</u>
備品・消耗品費*	・研究に必要な図書、文献、一般事務文具、分析・測定用の試薬・試料 ・1 点 10 万円未満の研究機材 等 ×機器等の修理費	<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u> <u>1 点 10 万円を越える備品を購入される場合は、固定資産管理は大学で行う旨を記載して下さい。</u>
印刷・製本費	・研究関連の作成文書・書類の印刷費 ・文献・文書資料等の複写費 ・英文校正費、論文投稿費 等	
調査費*	・アンケート調査、実験・試験、データ処理の一部を外部に委託する場合の費用 等 ・現地調査等に要する費用 等	<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u>
旅費・交通費*	・研究、会議等に要する交通費、宿泊実費 等 ×通常の業務と区別の付かない出張旅費 ×出張中の飲食費、出張手当・日当	<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u> <u>計上される場合は、目的、行き先、交通手段、日程、人数等の詳細を記載して下さい。</u>
通信費	・当該研究に必要な電話、インターネット等に要する通信費 ・資料等の運搬費 等	
借料・損料	・コンピュータ、実験・試験の機材、研究に使用する車両等のリース料 ・当該研究に関わる会議の会場借り上げ費 等	
その他*	・助成金管理費 等	<u>管理費は支援総額の 10%以内として下さい。</u>

※印の費目は計上限度額がありますのでご注意ください。

研究助成申請書

一般社団法人近畿建設協会
理事長 谷本 光司 殿

【申請者】

所 属(学科、コース名までご記入下さい)

職 名
フリガナ
氏 名

印

貴会の研究助成金の給付を受けたいので、下記のとおり申請いたします。

記

フリガナ
1. 研究課題名

2. 申 請 額 円

3. 研究課題の概要
様式2のとおり

フリガナ
4. 共同研究者 所属・職名・氏名
(共同研究者がある場合はご記入下さい)

5. 連 絡 先 (申請者)
住 所 〒

T E L ()
E-mail

連 絡 先 (申請者が不在時に連絡が取れる方を記載願います)

所 属

フリガナ
担当者名

T E L ()
E-mail

研究課題概要

①申請者名	様式 1 にて申請いただいた申請者名を記入して下さい。
②研究課題名	様式 1 にて申請いただいた研究課題名を記入して下さい。
③研究概要	本研究の概要を簡潔に記入して下さい。(300 字以内)
④研究の背景	本研究の起案のきっかけとなった現状及び問題点、課題等を分かりやすく記入して下さい。
⑤研究の目的	前述の問題点、課題等を考慮するために、本研究で何を明らかにしようとしているのか(指針や解析・予測手法等の提案・開発等)を記入して下さい。
⑥研究の特色	本研究が、従来からの研究や他の研究と比較して特色的な点(従来の研究との違い、他の研究ではどこまで進んでいるのか等)を具体的に記入して下さい。

<p>⑦研究の内容</p>	<p>前述の研究目的を達成するために、本研究ではどのような実施手順、手法によって進めていくのか具体的に分かりやすく記入して下さい。</p>	
<p>⑧研究の効果</p>	<p>本研究により、社会資本の整備・管理等にどのような効果があるのか記入して下さい。</p>	
<p>⑨成果の 公表方法</p>	<p>成果の公表方法について記入してください。 【記入例】 「〇〇学会 学術講演会にて発表予定」</p>	
<p>⑩キーワード</p>	<table border="1" style="width: 100%; height: 30px;"> <tr> <td style="text-align: center;">研究に関するキーワードを 5 つ記入してください。</td> </tr> </table>	研究に関するキーワードを 5 つ記入してください。
研究に関するキーワードを 5 つ記入してください。		

研究に係る経費内訳書

1. 研究に係る経費の内訳

研究に係る全体経費： 円

当協会助成金申請額： 円

2. 助成金申請額の内訳（予定）

費目	内訳	金額	備考
人件費・謝金※			<u>支援総額の 1/2 を超えての計上はしないでください。</u>
備品・消耗品費※			<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u> <u>1点 10 万円を越える備品を購入される場合は、固定資産管理は大学で行う旨を記載して下さい。</u>
印刷・製本費			
調査費※			<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u>
旅費・交通費※			<u>支援総額の 1/3 を超えての計上はしないでください。</u> <u>計上される場合は、目的、行き先、交通手段、日程、人数等の詳細を記載して下さい。</u>
通信費			
借料・損料			
その他※			<u>管理費は支援総額の 10% 以内として下さい。</u>

※印の費目は計上限度額がありますのでご注意ください。
本事業の助成金の使用期間は翌年の 3 月末までとなります。

研究歴及び主な研究発表論文等

フリガナ 氏 名			
所 属		職 名	
研究歴	<p>過去 5 年間の研究課題等をご記入ください。</p>		
主な 関連著書 論文 研究発表等	<p>学会、研究会等で発表された論文名、主な関連著書等をご記入ください。 また、研究課題に関連した論文 1 編を添付してください。 ※研究課題に関連した論文が無い場合は、代表的な論文を添付してください。</p>		

※共同研究者がいる場合は、様式 3 と研究課題に関連した論文を人数分提出ください。

なお、提出論文が共同研究者との連名での論文の場合は、提出の必要はありません。